

令和2年度 相武台地区市民レクリエーション大会



令和2年10月25日(日) 秋晴れの下、相武台東小学校にて市民レクリエーション大会が、総勢約180名の参加者で行われました。

今年度は市内自治会で中止が多く、行われたのは2箇所でした。新型コロナウイルス感染症対策のために実行委員はフェイスシールドを装着し、参加者を受付で検温し、検温済みの人にはざまりんのシールを貼りました。また、競技で使用した釣竿、缶、スプーン、ボールは一回一回消毒液で拭き取っていました。



- 競技は ① 缶釣りレース ② スプーンレース
③ パン喰いレース ④ 民謡踊り

高齢者も積極的に参加しており、高齢の方がゆっくり競技を楽しむことをコンセプトにしているようでした。それでも子どもや若者の中にはつい走ってしまう人もいました。



『パン喰いレース』は全員参加で、マスクのため手で取るので、いつもとひと味違った競技となりましたが、パンと参加賞をもらい、みなさん満足げでした。

最後に、三重の輪になって『座間音頭』、『炭坑節』を2回ずつ踊り、市レクを締めました。

参加賞品は小池地区で生産された野菜で、サツマイモ、ネギ、ゴボウ、小松菜、冬瓜など主婦には大人気でした。



[広報部取材]

